

### 1-5-6 ファイル・レイヤの分類方法

各種別のファイルと図面オブジェクト項目の組合せは、表 1-2に従う。

表 1-2 ファイル種別と図面オブジェクトの組合せ

ファイル種別			【1種】案内図	【2種】説明図	【3種】構造図	【4種】詳細図
図面オブジェクト			工事箇所的位置を示す図面	縦横断面図等全体を示す図面	個別の構造物を示す図面	数量算定の根拠となる図面
1	図 枠	TTL	○	○	○	○
2	背 景	BGD	○	○	△	—
3	基 準	BMK	○	○	○	△
4	主構造物	STR	○	○	○	○
5	副構造物	BYP	—	△	△	△
6	材 料 表	MTR	—	—	△	△
7	説明、着色	DCR	△	△	△	△
8	文 章	DOC	△	△	△	△
9	測 量	SUV	○	△	—	—

注) ○:必ず描画、△:描画は任意、—:描画しない

#### 【解説】

##### (1) 図面の分類

すべての図面は、作図目的と機能から解説 表 1-2の 4 種類に大別される。

解説 表 1-2 図面の分類

分類名	目 的	図面例	含まれる内容等	摘 要
【1種】 案内図	工事箇所を特定し、既存の施設との関係を明示する図面。公共座標との関連を示すこともある。	位置図、 一般図	工事箇所、始点終点、 工事要素の名称など。	基図に国土地理院発行の地形図(1/2.5万、 1/5万)を用いる場合が多い。
【2種】 説明図	工事区域内で使用される座標系、測点による工事の全体の形状、含まれる工種の全貌を示す図面。	一般平面図、 縦断(面)図、 横断(面)図、 応力図、 仮設工一般図	本体構造物、地形、 水位・潮位、土質・地質、 主要な既設構造物など。	横断面図、縦断面図においては、 工事数量の算出に利用する。
【3種】 構造図	個別の構造物の形状、組合せ、寸法、材質、仕上げ精度などを示す図面。	○○構造図、 ○○工、 標準断面図、 用排水系統図 単線結線図	仕上りの形状・寸法又は 材料、部品の組合せなど。	詳細図がない場合、 数量算出の根拠となる。
【4種】 詳細図	単一の部材の形状・寸法、数量を示す。またその組合せで複数の部材を表現する図面。	○○詳細図、 配筋図、 細部構造図、 土積図	材料(切土、盛土)単体の 形状、寸法、材質、規格、 重量。 (数量集計表を含む。)	数量算出の根拠となる。 仕上りの向き、形とは一致しないことが多い。

注) 仮設工についても、図面の性格により、全体を説明する図、構造形態を表す図、数量算出根拠となる図に区分される。